

◆主題名	自然を愛する
------	---------------

内容項目	D (20)	自然愛護
教材名・出典	「木の声を聞く」 (日本文教出版)	
本時のねらい	自然の生命力と崇高さを知り、自然に謙虚に向かい合いながら自然の愛護に努めようとする実践意欲を育てる。	
生徒の実態を把握するために必要なアンケートの内容		

中心となる発問を主題につなげるために必要な発問

①「木を救う仕事ではなく、木に宿る生命力を高めるための手伝いしているだけ」と塚本さんが思うようになったのはなぜだろう？

②塚本さんがこの大藤は移植できる、と確信できたのはどうしてだろう？

③樹木に祈りをささげ、その声に耳を澄ます、塚本さんの姿から何を学ぶことができるだろう。

◆テーマ (中心となる発問)	自然と人間が共生するためにできることは何だろう？
-------------------	---------------------------------

ねらいとする価値に迫るために・・・

◆学び合う 活動のねらい	変容をねらう 多様さに気づかせる 考えを深めたり広げたりする その他 ()
-----------------	---

ねらいを達成するための手立て					
1 心情円盤	2 ネームプレート	3 付箋紙	4 心のものさし		
5 ICT	6 その他 ()				
学び合う活動のスタイル					
1 Pw	2 Gw	3 Fw	4 Cw	5 その他 ()	

◆最後の振り返り	社会や理科で学んだ環境教育との関連を取り上げ自然愛護に努める実践意欲を高める。
----------	---

授業後の反省

○樹医という職業のイメージを持たせるのが難しかった。医者と比較させて同じところや違う面などをあげさせてもよかったかもしれない。

○塚本さんの生き方についてもっと深めることができたらよかったと思う。

○自然の中で生きるという感覚を持たせ共生により人間は生きているという考え方に結びつけることがあまりできなかった。

○授業の内容から自分の生活への自然愛護の心につなげる手立てがもう少し必要だったかもしれない。